

2024年3月期 決算補足資料

株式会社ハマキョウレックス

東京証券取引所プライム市場：9037



- I. 2024年3月期 決算概況
- II. 2025年3月期 計画
- III. 2024年3月期 決算実績
- IV. 近物レックスの現況と今後の戦略
- V. 参考情報

I . 2024年3月期決算概況

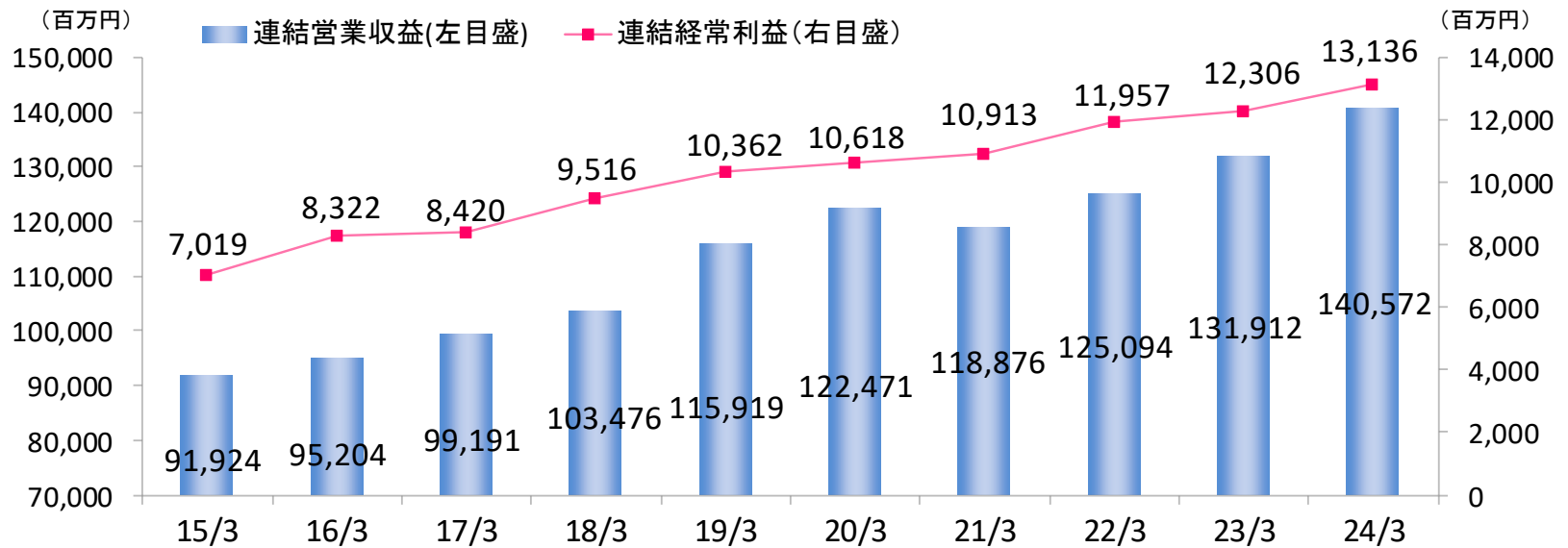
I-1. 2024年3月期の業績

営業収益は、1,405億 72百万円 (前年同期比 +6.6%)

経常利益は、131億 36百万円 (前年同期比 +6.7%) の増収増益

項目	対前期比	対計画比	対前期比増減要因
営業収益 140,572百万円	+8,660百万円 (+6.6%)	+1,572百万円 (+1.1%)	・物流センター事業での運営の充実と新規稼働したセンターが順次業績に寄与 ・M&A効果
営業利益 12,569百万円	+1,020百万円 (+8.8%)	+469百万円 (+3.9%)	・物流センター事業で生産性向上及び収益増加 ・M&A効果
経常利益 13,136百万円	+829百万円 (+6.7%)	+336百万円 (+2.6%)	
親会社株主に帰属 する当期純利益 8,305百万円	+905百万円 (+12.2%)	+605百万円 (+7.9%)	・特別利益の発生 負ののれん発生益、受取補償金

I-2. 業績推移



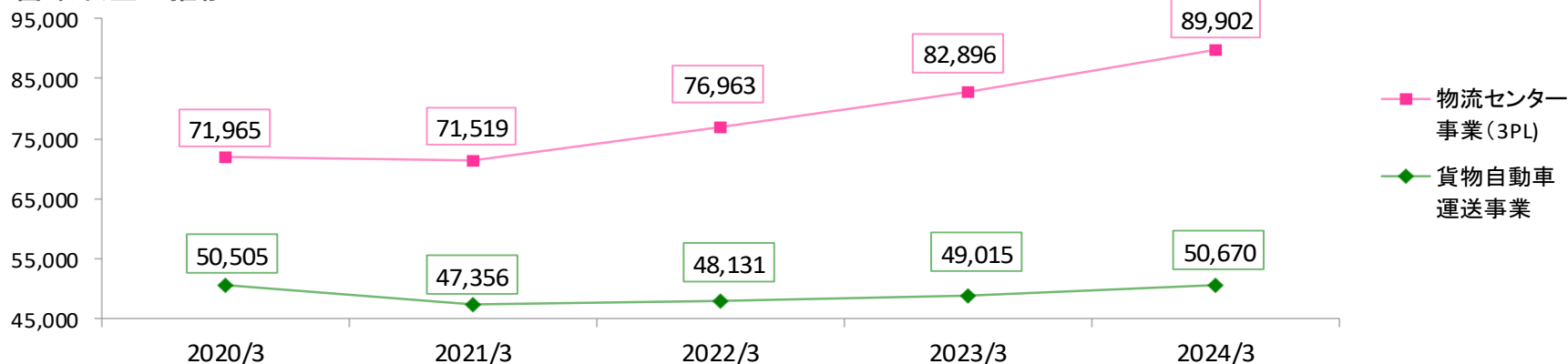
連結業績	
営業収益	増 収 (過去最高)
営業利益	増 益 (過去最高)
経常利益	増 益 (過去最高)
親会社株主に帰属する当期純利益	増 益 (過去最高)

I-3. セグメント情報の推移

(百万円)

		2020/3 (構成比:%)	2021/3 (構成比:%)	2022/3 (構成比:%)	2023/3 (構成比:%)	2024/3 (構成比:%)	増減 (増減率:%)
物流センター 事業(3PL)	営業収益	71,965 (58.8%)	71,519 (60.2%)	76,963 (61.5%)	82,896 (62.8%)	89,902 (64.0%)	+7,005 (+8.5%)
	営業利益	7,732	8,243	9,310	10,015	10,641	+626
貨物自動車 運送事業	営業収益	50,505 (41.2%)	47,356 (39.8%)	48,131 (38.5%)	49,015 (37.2%)	50,670 (36.0%)	+1,654 (+3.4%)
	営業利益	2,450	2,314	1,798	1,529	1,923	+394

営業収益の推移

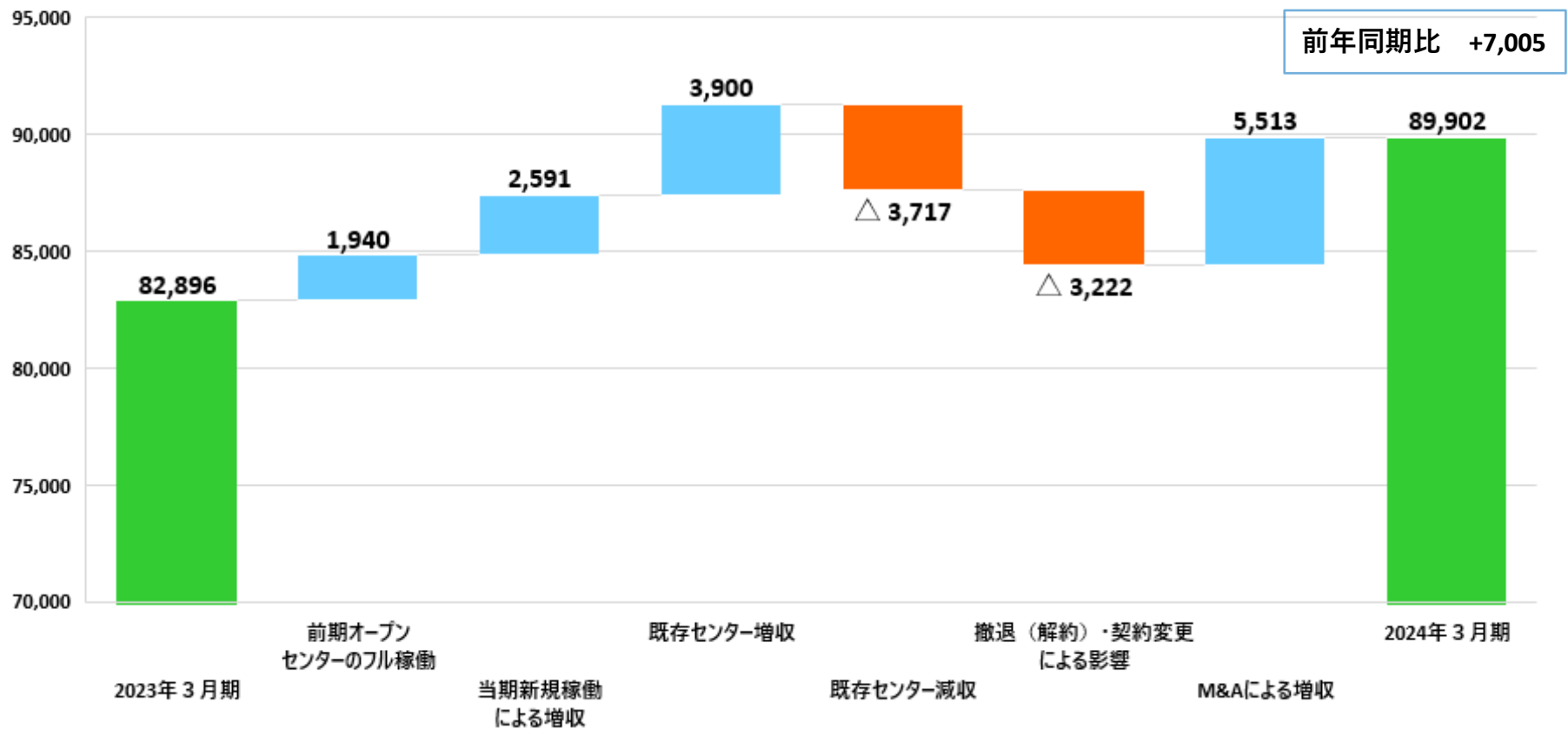


※2020年4月1日付で、当社の連結子会社である㈱ロジ・レックスが、同じく当社の連結子会社であった㈱ジェイビーエスを吸収合併したことにより、事業セグメントの変更を行っております。なお、比較のため、2020年3月期のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

I-4. 物流センター事業(3PL)の概況

営業収益の状況

(百万円)



I-5. 物流センター—事業の稼働状況

●新規受託及び稼働

取扱品目	前期受託 未稼働	当期 受託	稼働	当期 未稼働	memo
フード		6社	4社	2社	
アパレル		3社	3社	-	
ホームケア		4社	4社	-	
メディカル/ヘルスケア	1社	3社	2社	2社	
その他		0社	0社	-	
計	1社	16社	13社	4社	



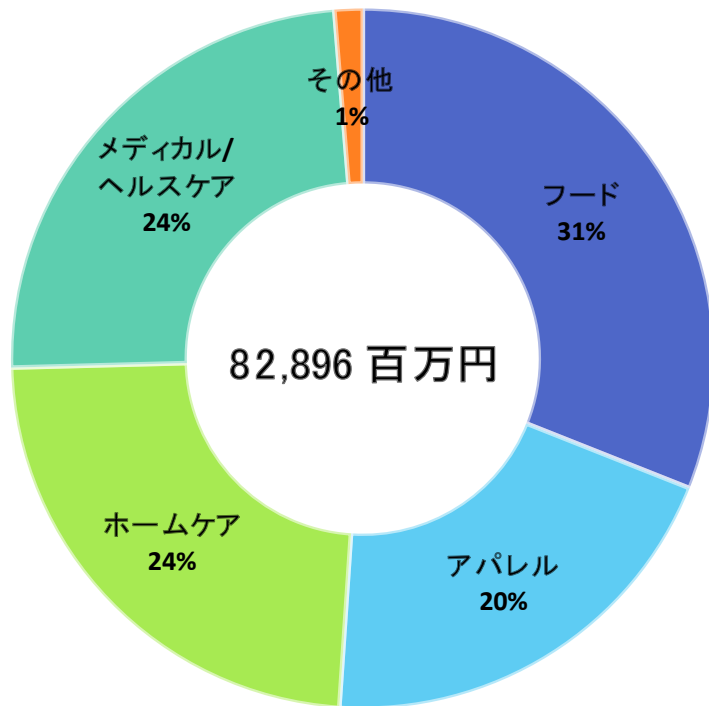
●物流センター数

2024年3月31日現在

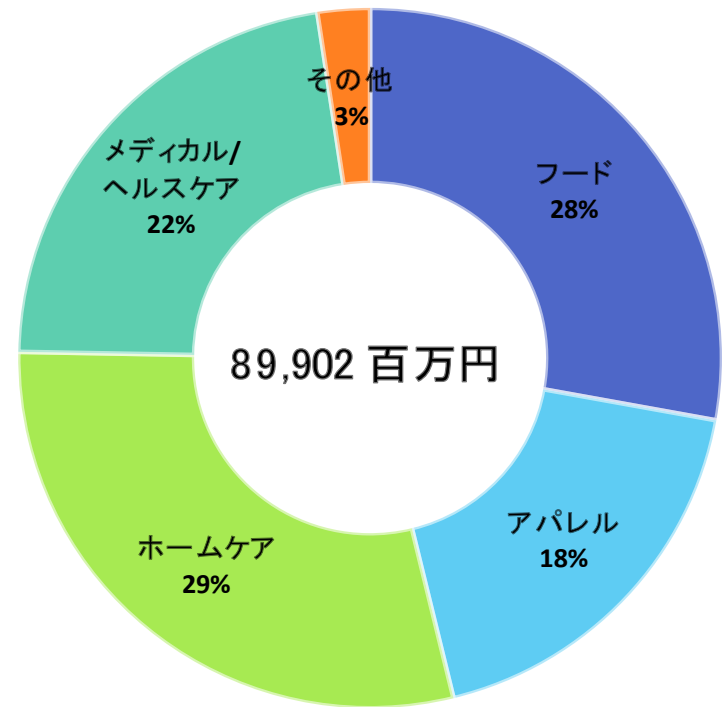
自社センター	57	(514,744m ²)
借用センター	129	(979,004m ²)
計	186	(1,493,748m ²)

I-6. 物流センター事業の取扱品目別売上高

2023年3月期



2024年3月期

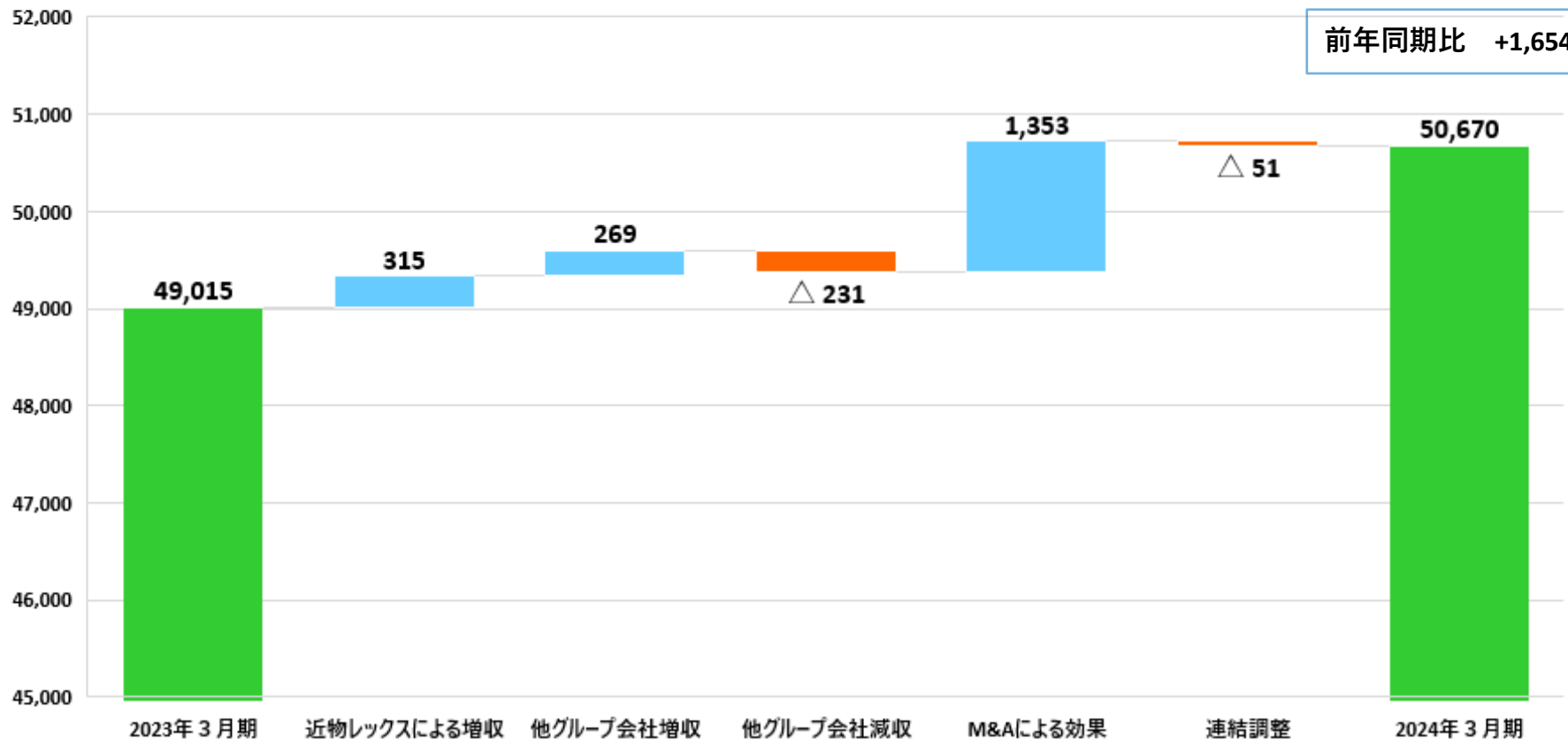


I-7. 貨物自動車運送事業の概況

営業収益の状況

(百万円)

前年同期比 +1,654



※近物レックスグループとは、近物レックス(株)とその子会社5社です。

(都運輸(株)、三重近物通運(株)、茨城県貨物自動車運送(株)、(株)エービーエクスプレス、(株)Masse)

Ⅱ. 2025年3月期計画

Ⅱ-1. 2025年3月期 業績予想

(百万円)

	連結業績	
	計画	前期比 (増加率)
営業収益	146,000	+5,427 (+3.9%)
営業利益	12,900	+330 (+2.6%)
経常利益	13,800	+663 (+5.1%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	8,600	+294 (+3.6%)
設備計画	12,000	***

(百万円)

セグメント別業績予想

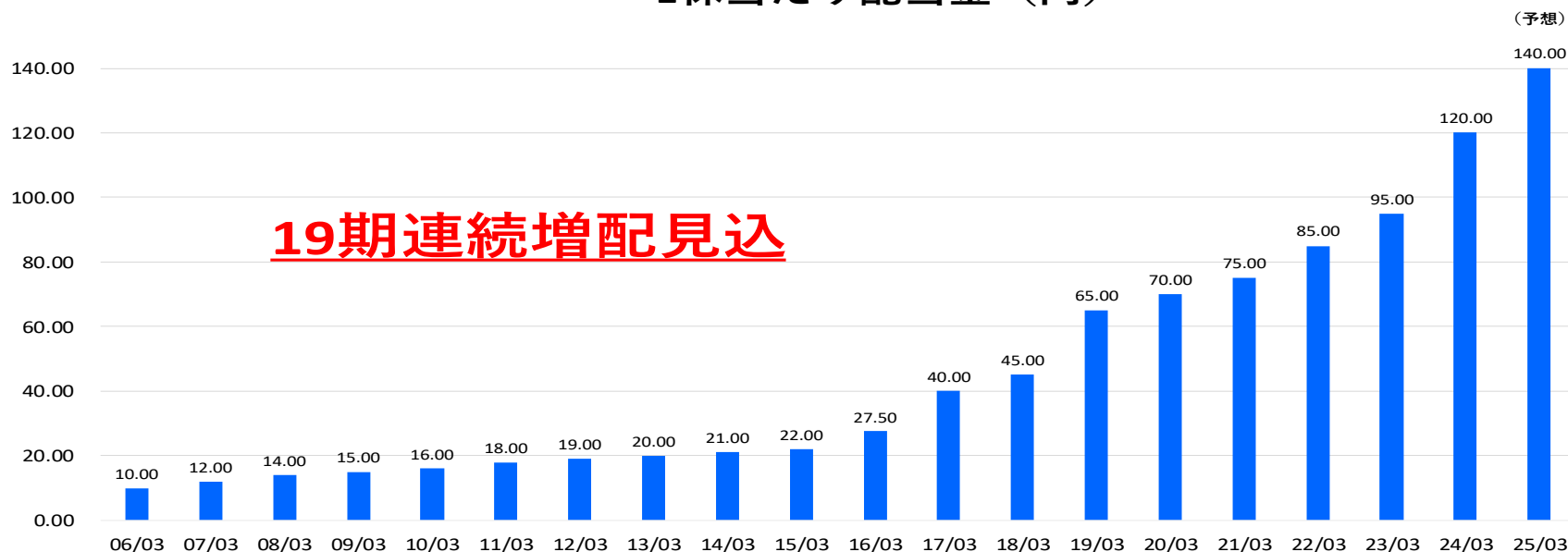
		計画	前期比	(増加率)
物流センター事業	営業収益	93,300	+3,397	(+3.8%)
	営業利益	11,100	+458	(+4.3%)
貨物自動車 運送事業	営業収益	52,700	+2,029	(+4.0%)
	営業利益	1,800	△123	(△6.4%)

Ⅱ-2 . 経営指標

	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3予想
1株当たり当期純利益(円) 〔EPS〕	341.69	378.84	393.92	442.57	458.25
自己資本当期純利益率(%) 〔ROE〕	10.1	10.3	9.9	10.3	10%以上
営業収益経常利益率(%)	9.2	9.6	9.3	9.3	9.5

※自己資本当期純利益率(ROE)は、10%以上を継続的に達成することを目指してまいります。

1株当たり配当金 (円)



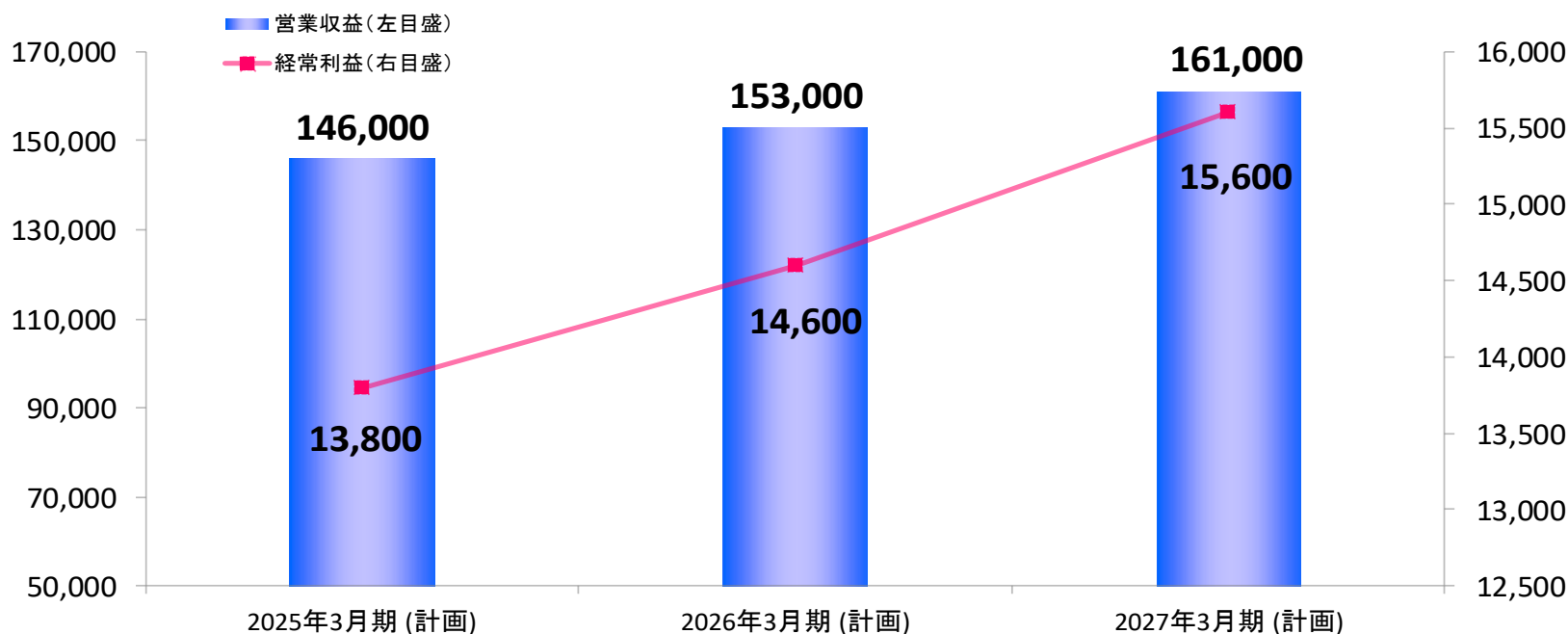
※当社は2015年9月1日をもちまして、1株につき2株の割合にて株式分割を行っております。そのため、2006年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して配当金を算出しております。また、2024年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行う予定です。

13 2025年3月期の1株当たり当期純利益及び1株当たり期末配当金(予想)は当該株式分割の影響を考慮しておりません。

Ⅱ-3. 中期経営計画

(百万円)

	2025年3月期 (計画)	2026年3月期 (計画)	2027年3月期 (計画)
	連結	連結	連結
営業収益	146,000	153,000	161,000
経常利益	13,800	14,600	15,600
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,600	9,050	9,650
1株当たり当期純利益	458.25	482.22	514.20
営業収益経常利益率	9.5%	9.5%	9.7%
設備投資計画	120億円	120億円	120億円



※2024年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行う予定です。
上記中期経営計画の1株当たり当期純利益は当該株式分割の影響を考慮しておりません。

Ⅱ-4. 今後の取り組み

1. 3PL事業を軸とする事業展開

- ・積極的な設備投資
- ・物流センターのDX化、省人化
- ・EC物流の拡大（ラストワンマイル）と自社配送の取り組み

2. 3PL事業とグループ会社の融合

- ・近物レックスの貨物ターミナルを物流センター化
- ・3PL配送のグループシナジーを強化

3. 新規顧客獲得に向けた取り組み

- ・3PL新規受託件数年間目標15社
- ・国内の顧客満足度を向上させるため、ニーズに応じた海外展開

4. 貨物自動車運送事業の取り組み

- ・物量増加の取り組み
- ・労働環境改善、運賃是正の取り組み

5. M&Aの継続

- ・3PL事業、貨物自動車運送事業においてシナジー効果を創出できるM&Aの取り組み

6. ESGの取り組み強化

- ・CO₂排出量削減、SDGsの推進



Ⅲ. 2024年3月期 決算実績

Ⅲ-1. 四半期会計期間別(3ヶ月)の業績推移

(百万円)

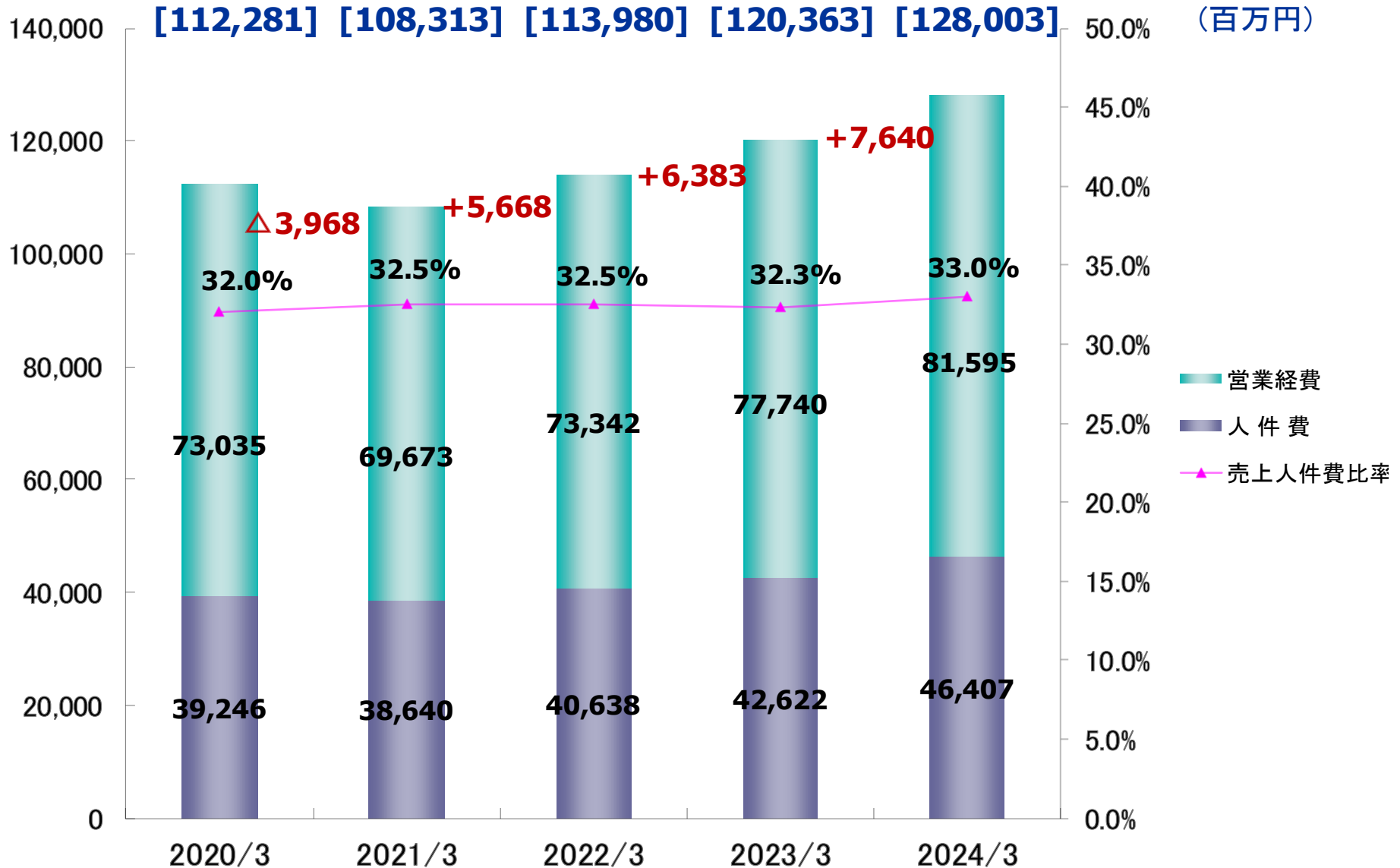
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)
営業収益	33,092	+545 (+1.7%)	34,270	+1,854 (+5.7%)	37,695	+2,757 (+7.9%)	35,514	+3,503 (+10.9%)
営業利益	2,946	+58 (+2.0%)	2,693	△46 (△1.7%)	4,155	+580 (+16.2%)	2,774	+428 (+18.2%)
経常利益	3,187	+14 (+0.5%)	2,875	△41 (△1.4%)	4,083	+367 (+9.9%)	2,989	+489 (+19.6%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,910	△48 (△2.5%)	1,845	+139 (+8.2%)	2,396	+252 (+11.8%)	2,153	+561 (+35.2%)

Ⅲ-2. セグメント別四半期会計期間(3ヶ月)の業績推移

(百万円)

		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
		当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)
物流センター	営業収益	20,624	+267 (+1.3%)	21,751	+1,423 (+7.0%)	24,406	+2,129 (+9.6%)	23,119	+3,185 (+16.0%)
	営業利益	2,628	+92 (+3.6%)	2,356	△12 (△0.5%)	3,256	+222 (+7.3%)	2,400	+323 (+15.6%)
貨物自動車運送	営業収益	12,468	+277 (+2.3%)	12,518	+431 (+3.6%)	13,288	+627 (+5.0%)	12,395	+317 (+2.6%)
	営業利益	316	△34 (△9.8%)	336	△34 (△9.2%)	898	+358 (+66.3%)	372	+104 (+38.8%)

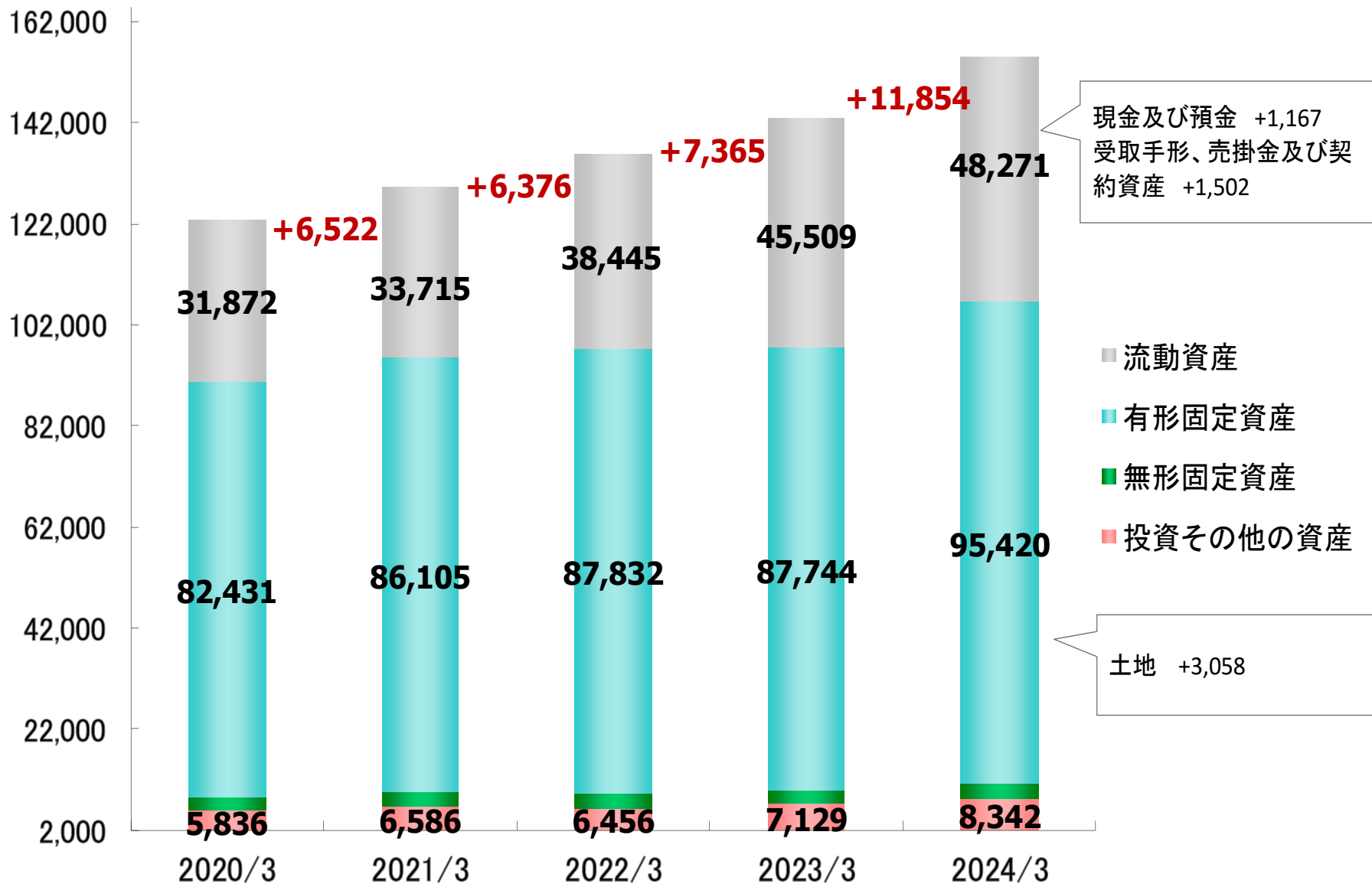
Ⅲ-3. 経費・人件費



Ⅲ-4. 貸借対照表<資産>

[122,773] [129,295] [135,672] [143,038] [154,892]

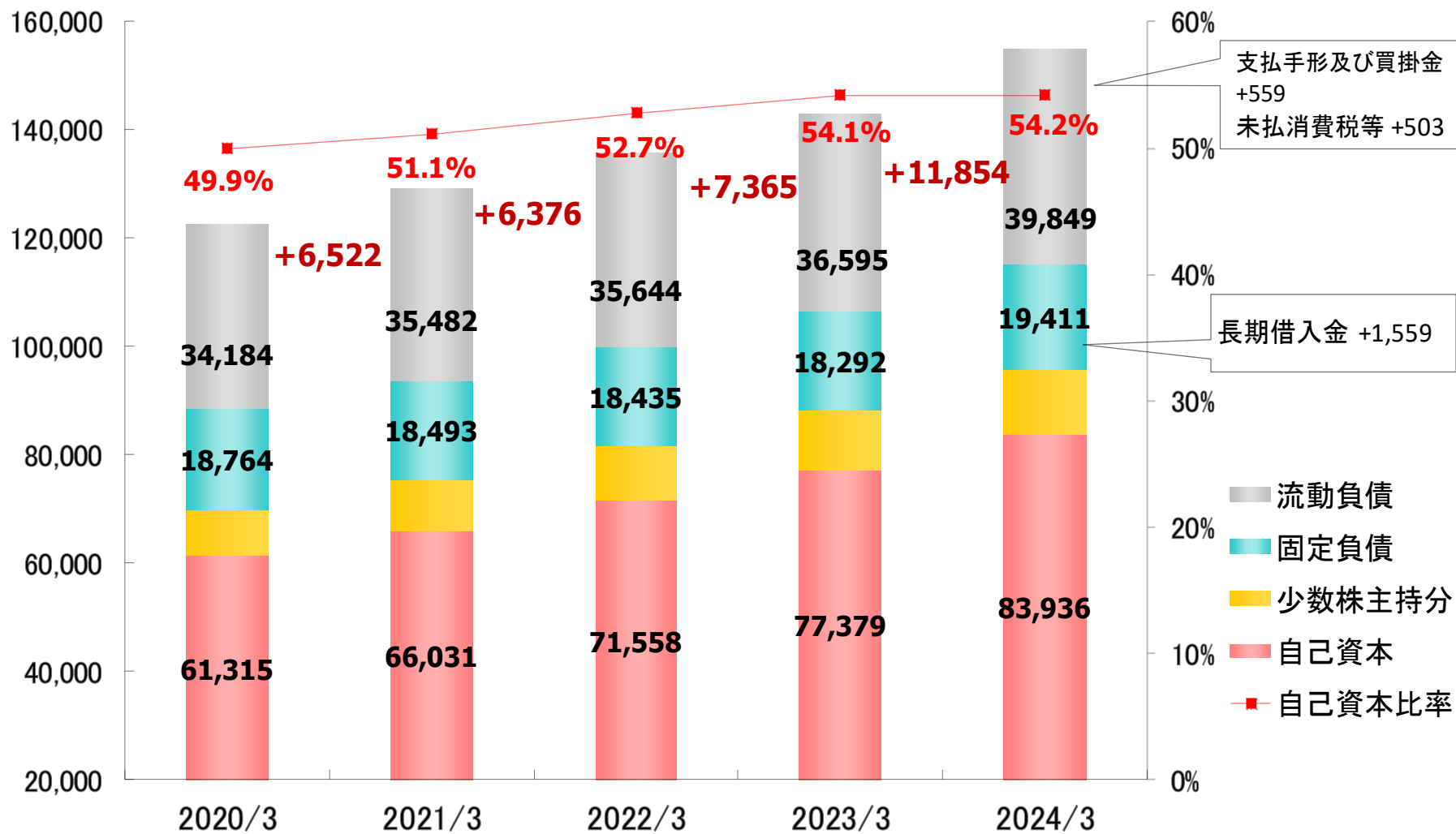
(連結:百万円)



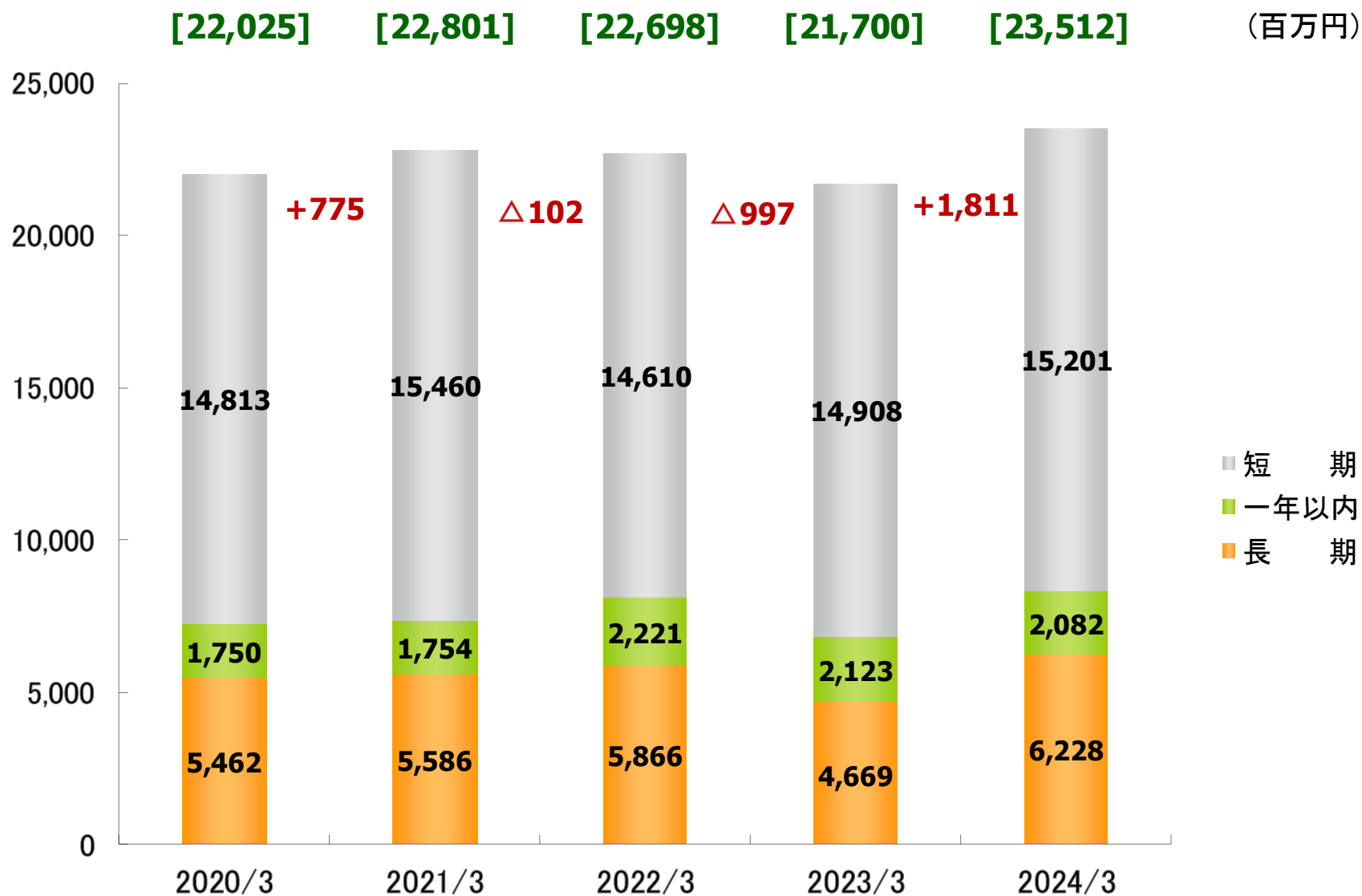
Ⅲ-5. 貸借対照表<負債・純資産>

[122,773] [129,295] [135,672] [143,038] [154,892]

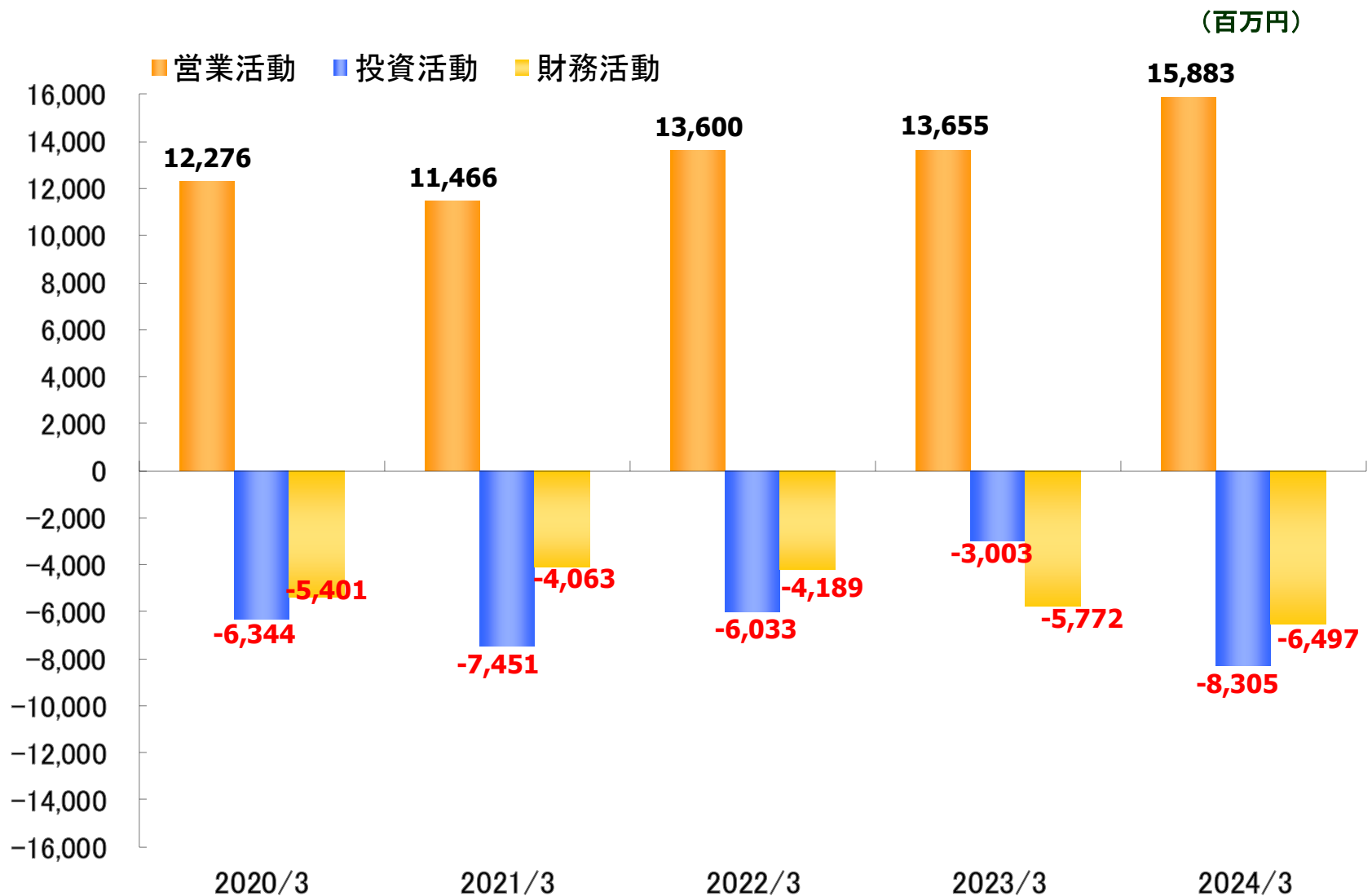
(連結:百万円)



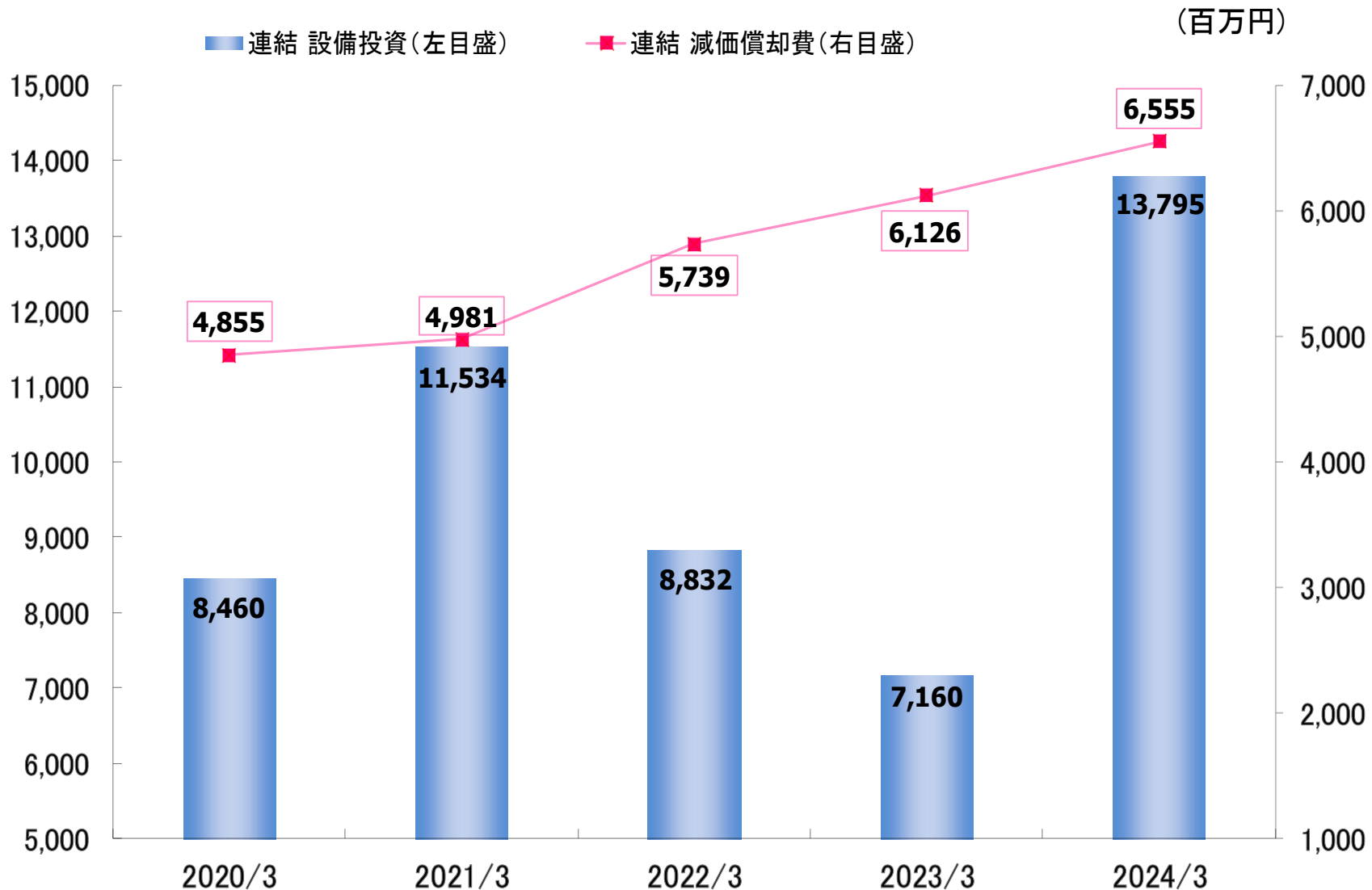
Ⅲ-6. 有利子負債（借入金）



Ⅲ-7. キャッシュ・フロー



Ⅲ-8. 設備投資・減価償却費



IV. 近物レックスの現況と 今後の戦略

IV-1. 近物レックス 2024年3月期業績

(百万円)

	実 績			
	2022/3	2023/3	2024/3	前期比 (増減率)
営業収益	36,973	37,179	37,496	+317 (+0.9%)
営業利益	1,041	561	825	+263 (+46.9%)
経常利益	1,151	665	702	+37 (+5.6%)

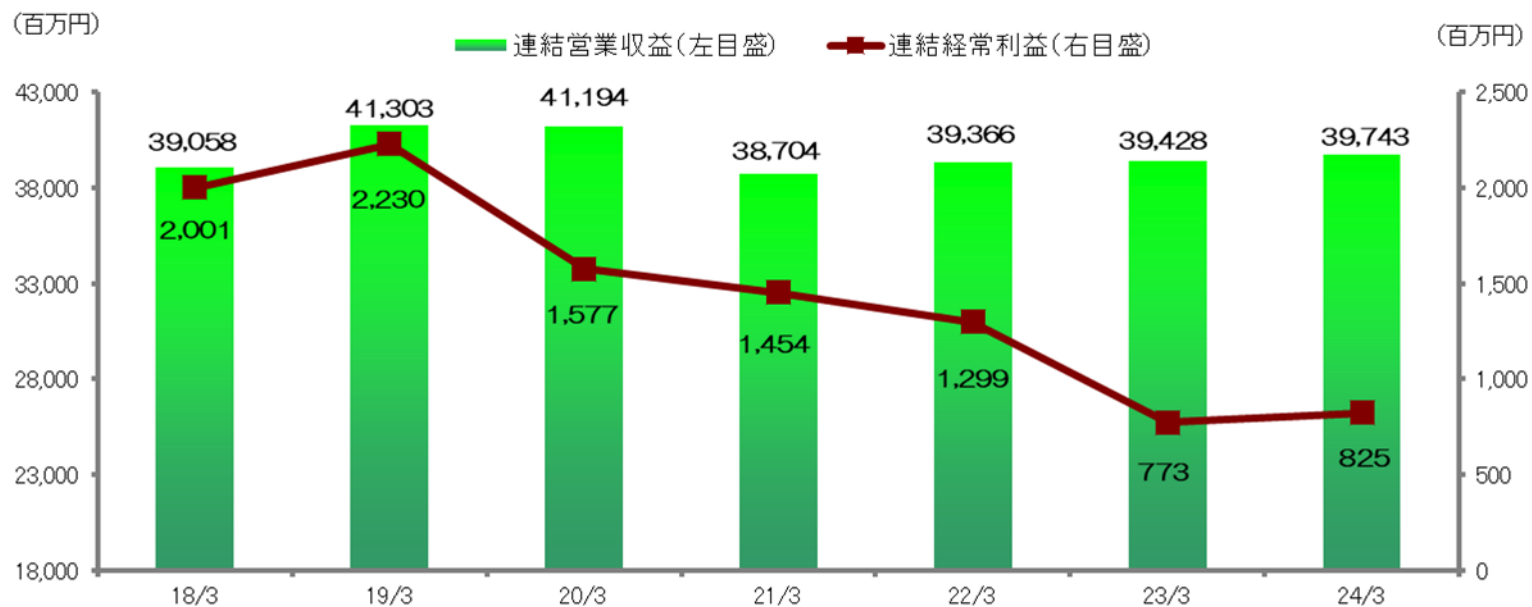
IV-2. 近物レックス 業績推移

(百万円)

	近物レックスグループ(連結子会社含む)						近物レックス単体	
	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	増減額 (率)	2024/3	増減額 (率)
営業収益	41,194	38,704	39,366	39,428	39,743	+315 (+0.8%)	37,496	+317 (+0.9%)
営業利益	1,513	1,436	1,167	659	942	+283 (+43.0%)	825	+263 (46.9%)
経常利益	1,577	1,454	1,299	773	825	+51 (+6.6%)	702	+37 (+5.6%)
当期純利益	1,164	954	884	497	545	+47 (+9.6%)	453	-1 (-0.2%)

※近物レックスグループ: 近物レックスの直接子会社を含めた連結数値となります。

IV-3. 近物レックス収益構造



	連結業績	個別業績
営業収益	増収	増収
営業利益	増益	増益
経常利益	増益	増益
当期純利益	増益	減益

IV-4. 近物レックスの2023年度成果

1. 収益性の向上

- ・ 物量確保
- ・ 適正運賃收受
- ・ 内製化（効率化）
- ・ BtoCネットワークの構築

2. 輸送の安全

- ・ 3大事故の撲滅（車両・労災・商品）
- ・ 法令遵守

3. 雇用推進

- ・ 採用強化（社員紹介制度・正社員募集）
- ・ ドライバー確保

4. 設備投資・その他

- ・ 設備投資（車両・店舗建替）
- ・ 社内システムの更新
- ・ 借入返済



IV-5. 近物レックスの2024年度取組み

1.収益性の向上

- ・売上確保
- ・適正運賃收受
- ・内製化（効率化）
- ・課題店所の収支改善

2. 安全と法令順守

- ・再発防止策の徹底
- ・内部統制の強化
- ・3大事故の撲滅（車両・商品・労災）
- ・法令遵守
- ・社内ルールの厳正化

3.雇用確保

- ・採用強化（社員紹介制度・正社員募集）
- ・ドライバー確保
- ・社員教育の実施

4.設備投資

- ・設備投資（車両・店舗建替）
- ・借入返済



V. 参考情報



「物」に携わる者として、

「人と接するときは、**心**を込めて」

「仕事をするときは、**初心**を忘れず前向きに」

「物を扱うときは、**心**を込めて丁寧に」

「物を運ぶときは、**心**を込めて安全に」

「如何なるときにも感謝の**心**を大切に」

を基本テーマに取組んでおります。

V-2. 経営方針

物流の役割は駆伝でいえば最終ランナー、
地味ではあるが信頼された重要な存在。

当企業グループは信頼に応えて効率的な事業活動の展開と継続的で質の高い成長を図り、お客様第一、品質第一を基本に、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

また、短期的な収益にとらわれず、長期的な視点に立った経営を行い、3PL物流における質的内容の日本一を目指します。



会社概要（2024年3月31日現在）

- 社 名 株式会社ハマキョウレックス
(HAMAKYOREX CO., LTD.)
- 設 立 1971年2月
- 資 本 金 65億47百万円
- 決 算 期 3月31日
- 従 業 員 数 連結 5,778名
- 発 行 済 株 式 数 19,012,000株
- 株 主 数 4,621名
- 事 業 内 容 物流センター事業（3PL）、貨物自動車運送事業
- 連 結 子 会 社 38社
- 売 上 高 連結 1,405億72百万円
- 経 常 利 益 連結 131億36百万円

V-4. 事業紹介

当社グループは、
物流センター事業と貨物自動車運送事業を中心に
展開しております。

物流センター
事業（3PL）

(株)スーパーレックス
(株)ロジ・レックス
シュタープ(株)
千代田運輸(株)
(株)HMKロジサービス
(株)シティーライン
栄進急送(株)
マルコ物流(有)
東日本急行(株)
京阪久宝HD(株)
(株)サカイアゼットロジ

他9社

貨物自動車
運送事業

高塚運送(株)
近物レックス(株)
東海乳菓運輸(株)
松本運送(株)
大浜運輸(株)
浜松興運(株)
千葉三港運輸(株)
藤栄運輸(株)
大一運送(株)
中神運送(株)
(株)山里物流サービス

他7社

(株)ハマキョウ
レックス

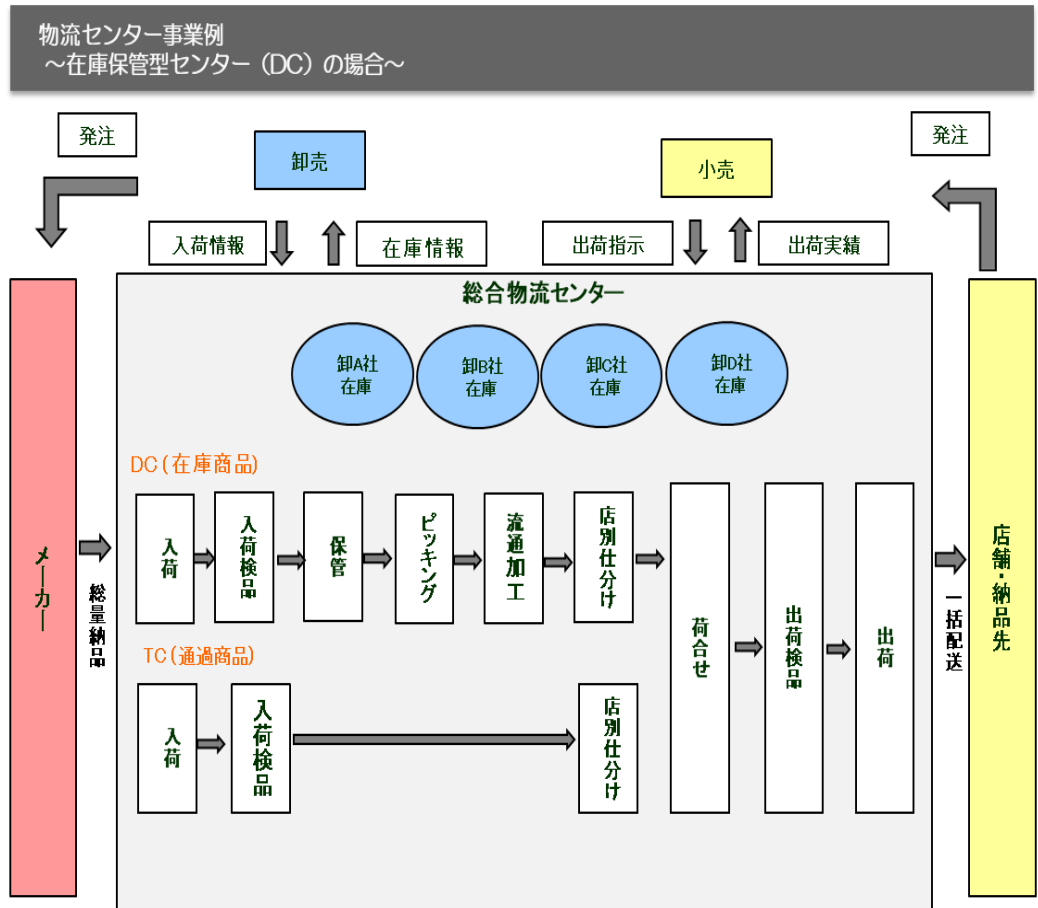
V-5. 物流センター事業

当社は**3PL(3rd Party Logistics)**をおこなっております。

3PLとは、『荷主様に対して物流改革を提案し包括して物流業務を受託すること』であり、一般的には、『荷主様が物流業務を外部委託(アウトソーシング)すること』を指します。

3PLの主な目的は、「物流コスト削減」「戦略的ロジスティクスの構築による利益追求」です。

お客様にとって最適な物流通をご提案し、「物流を通じてお客様へ利益を還元する」ことが最も重要な役割であると考えております。



コスト競争力 現場力

当社は、「**コミュニケーション**」を重要視し、社員・パート・アルバイトを含めた「**全員参加**」による現場主導での自社運営を実施。「**日計収支^{※1}**」・「**生産性向上**」によるコスト削減を荷主様へ提案し、物流費削減を支援いたします。

※1 日計収支とは、各拠点で、日々決算を行い、その日1日の損益を把握する仕組みです。これにより、その日の問題点を翌日の改善につなげ、日々の無駄なコストを削減していくための当社の仕組みであります。

V-7. 拠点紹介



物流センター数 (2024年3月31日現在)

自社センター	57 (514,743.72㎡)
借用センター	129 (979,004.17㎡)
計	186 (1,493,747.88㎡)

北海道エリア

札幌営業所

甲信越・北陸エリア

あずみ野営業所
福井センター
松本運送(株)本社
シュターブ(株)本社

中国・九州エリア

福岡メディカルセンター
日向センター
防府センター
千代田運輸(株)本社
(株)シティーライン本社

関東エリア

つくばセンター
麻生センター
成田営業所
綾瀬センター
横浜営業所
藤沢センター

高塚運送(株)本社
(株)スーパーレックス本社
(株)ロジ・レックス本社
千葉三港運輸(株)本社
東日本急行(株)本社
(株)サカイアゼットロジ本社

東海エリア

(株)ハマキョウレックス本社
浜松定温センター
袋井メディカルセンター
中部メディカルセンター
豊川センター
小牧営業所
北名古屋センター
みよしセンター
岩倉センター

近物レックス(株)本社
東海乳菓運輸(株)本社
大浜運輸(株)本社
浜松興運(株)本社
藤栄運輸(株)本社
中神運送(株)本社

近畿・四国エリア

彦根支店
伊賀営業所
大阪南港センター
神戸西センター

(株)HMKロジサービス本社
栄進急送(株)本社
マルコ物流(株)本社
大一運送(株)本社

(株)山里物流サービス本社
京阪久宝 HD (株)本社

- ハマキョウレックス
- スーパーレックス
- 近物レックス
- 連結子会社本社 38箇所
(2024年3月31日現在)

IR関係問合せ先・担当者

- 執行役員
管理本部長兼経営企画室長 竹内 義之
 - 経営企画室課長 河島 康男
- TEL 053-444-0054



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。